

自然環境と共生するこれからの都市空間デザインを公開で検討 「UDCK 環境フォーラム 2010」を11月20日に開催

柏の葉地域を拠点に公・民・学連携による街づくりを進める「柏の葉アーバンデザインセンター（以下“UDCK”、所在地：千葉県柏市、センター長：大和裕幸東京大学教授）」は、自然環境と共生する街づくりや新しい都市空間のデザインのあり方について考える「UDCK 環境フォーラム 2010」を、11月20日（土）に開催します。

柏の葉地域では、2008年3月に県・市・千葉大学・東京大学が共同策定した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、「次世代環境都市」の実現を目指した街づくりが行われています。大規模な都市開発において、既存の自然環境を保全・再生し、さらに新たな緑地を創出していく環境共生型の都市空間デザインとして、街路樹や民地の植栽による緑豊かな新設道路「緑園の道」の基本設計、調整池の水辺空間や湧水のせせらぎなどを活用した水と緑に触れ合える「緑園のまちづくり計画」の検討などが進んでいます。一方、市民と学識経験者で構成する「かしわ環境ステーション運営協議会」では、2006年度～2008年度にかけて、柏市の委託により柏市全域の自然環境調査を実施し、柏の葉周辺を含む柏市北部地域に豊かな湿地性の自然環境が広がっていることを明らかにしています。

今回のフォーラムでは、当地域における自然環境の現状および、「緑園の道」や「緑園のまちづくり計画」など空間デザインにかかわる検討状況を報告した上で、次世代環境都市を目指すこれからの開発や街づくりの方向性、その整備・管理のあり方について、市民、都市開発に関わる行政や民間企業、学識経験者が一緒になって公開型で議論する場にしたいと考えています。

「UDCK 環境フォーラム 2010」 開催概要

- 開催日時：2010年11月20日（土） 13:00～15:00
- 会場：柏の葉アーバンデザインセンター（つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」東口すぐ）
- 参加費：無料（申込不要）
- 内容：
 - 【基調報告】柏市自然環境調査及びその補足調査にみる、北部地域の自然環境の現状
 青木 保雄 氏（かしわ環境ステーション運営協議会／柏自然ウォッチャーズ）
 - 【基調報告】柏の葉キャンパスタウン構想 空間デザイン部会における検討状況
 作山 康 氏（株式会社都市環境研究所）
 - 【基調講演】自然環境とまちの「共生」とは
 横張 真 氏（東京大学大学院教授）
 - 【パネルディスカッション】柏の葉における自然環境共生型まちづくりのあり方
 青木保雄 氏、作山康 氏、横張真 氏、三牧浩也 氏（UDCK 副センター長）、松清智洋 氏（柏市民活動センター）

本件に関するお問い合わせ先

≪一般の方のお問い合わせ先≫
 柏の葉アーバンデザインセンター
 T E L：04-7140-9686（代表）
 M A I L：info@udck.jp

≪報道関係の方のお問い合わせ先≫
 柏の葉アーバンデザインセンター
 広報担当：小林、蛭川
 T E L：090-3510-5586 / 04-7140-9686